

プログラム編

プログラム テーマ「我が子とコミュニケーションのとり方」(保護者対象)

- 1 コミュニケーション(子どもとのかかわり方)のポイント
ポイント「子どもの気持ちに立って考えて、対応する」
- 2 準備
マジックペン2～3本、フラッシュカード、振り返り用紙(人数分)
- 3 展開

ねらい	分	活動(教師 保護者)
開会	5	
オリエンテーション ・セミナーのテーマについて確認する。これまでの子育てを認め、安心してセミナーに参加できるようにする。	10	スタッフが自己紹介をする。 研修会のテーマを説明する。 「参加型体験型セミナーに参加した保護者に感想を伺うと、『笑いのある和やかな雰囲気 気がよかった』『わかりやすかった』『他の家の意見が聞けた』が多かったです。統計によると、子どもが家にいる時間の長さが問題なのではないことが分かります。『親が厳しすぎる』『親が私の心を分かってくれない』が年齢が上がるにつれて多くなります。今日は、お子さんとコミュニケーションのとり方について、体験(実習)を通して、楽しみながら一緒に考えていきましょう！」
ウォーミングアップ ・緊張をほぐす。 ・自己理解を深める。 ・今後の活動に生かす班と関係をつくる。	15	相互コミュニケーションのイメージについて話す。 グループ分けゲーム(パースデーラインの応用) 言葉は使わず、身振り手振りを使い、自分の誕生日順、お子さんの年齢(何歳何ヶ月)順に並ぶ。 ゲームを通してセミナーの雰囲気を和らげ、4人組を作る。 自己紹介(自分の気持ち表現しましょう) 自己紹介の仕方について、例を示す。 4人組で、自己紹介する。1人1分。事実を伝えるだけでなく、「その時、何を感じたか？」気持ちを言葉で表現する。 大人でも、「気持ちを言葉で表現して伝えることは難しい」ことを確認。でも、大人も子どもも、態度やしぐさを見取って、自分の気持ちをわかってもらえると嬉しい。
実習 ・ロールプレイによって課題を外在化	25	今から、家庭でのある場面を劇でお見せしますので、子どもの気持ちを考えてみて下さい。 もし、自分の子どもから『お母さん、私、みんなから嫌われているのかな?』 【場面】夕食後、後片づけを始めるお母さん。子供たちに「早くお風呂に入ってきなさい。」と声をかける。子どもがお母さんの後ろに立ち、「お母さん、私、みんなから嫌われているのかな?」とつぶやく。お母さんは「大丈夫よ。この前、ちゃんとなかよく遊んでたじゃない。心配し

	<p>ないで。」と答える。</p> <p>場面を教師がロールプレイで示す。</p> <p>ロールプレイを見て感じたことや子どもの気持ちを全体で発表する。2～3名。</p> <p>子どもの発した言葉から、子どもの気持ちを考え、自分がこの子の母親だったら、どう声をかけるか、実際のセリフを考える。</p> <p>4人組になり、自分の書いたセリフを発表し合う。</p> <p>「こんな話が出ました」と全体で報告。各グループ代表者一人。情報交換</p> <p>どんな言葉かけをすると気持ちが受け止められた(わかってもらえた)と感じるか整理する。</p> <p>「どうしてそう思うの？」 質問に質問。はぐらかされている感じ。気持ちをわかってほしいとしている。</p> <p>「嫌われていると思うと、不安だよね。」 気持ちをわかってくれたと感じる。</p>
閉会	5

板書計画

 **テーマ「我が子とのコミュニケーションのとり方」**



ポイント「子どもの気持ちに立って考えて、対応する」

4 振り返り用紙

学校PTA「子育て支援セミナー」平成 年 月 日

セミナーで体験したことを、子育てにどのように生かそうと思いますか。

ご参加していただきありがとうございました。セミナーに参加した感想をお寄せ下さい。

プログラム テーマ「前思春期と我が子とのかかわり方」 (保護者対象)

1 前思春期の我が子とのかかわり方のポイント

ポイント1 : ゆれている我が子の内面を察知しましょう。

ポイント2 : 親に近づこうとしてきた時はかかわりを持ち、自分でやろう(離れよう)としている時は見守りましょう。

2 準備

名札、マジックペン、フラッシュカード、感情を書いたカード10セット、ぬいぐるみ、写真、ランドセル、マンガ本、家庭教育リーフレット、振り返り用紙

3 展開

ねらい	分	活動(教師 保護者)
開会の言葉 ・保護者のニーズに応えた懇談会を設定する学校方針に基づいて計画したことを確認する。	2	保護者会を学年合同で行うことにした理由を話す。
オリエンテーション ・セミナーのねらいを確認する。これまでの子育てを認め、安心してセミナーに参加できるようにする。	5	自己紹介をする。 この研修会のねらいを説明する。 <u>アンケート結果から今までやってきた子育てを認める。</u> 「子育てに悩みや不安があるということは、子どもとかかわっているから。だからお子さんはきちんと成長発達しているはずです。自信をもって下さい。」 「これから思春期を迎える(成長していく)に当たって、我が子とどのように家族がかかわっていけばよいか、一緒に考えていきましょう！」
ウォーミングアップ ・緊張をほぐす。 ・我が子への思いを振り返ることによって自己理解を深める。 ・今後の活動に生かす班と関係をつくる。 ・ワークのためのトレーニングをする。	15	自己紹介 自己紹介の仕方について、言葉による説明とともにスタッフが例を示す。 4人組を作り、子どもが使っていた玩具や思い出の写真を見ながら、これまでの子育てを話題にして自己紹介する。 表情読み取りゲーム 表情当読み取りゲームのやり方について、言葉による説明とともにスタッフが例を示す。 4人組の班で、ジャンケンをして順番を決め、1人がカードを1枚選び、カードに書いてある感情を表情や身振りで表現し、3人が答えを当てる「表情当てゲーム」をする。
ワーク「こんな時どうする？」	30	実習1 題名「帰宅した子どもとお母さん」 場面1 : 素直で明るいトモくんが学校から帰ってきました。ところが今日は何だかいつも

- ・ ロールプレイによって課題を外在化する。
- ・ 子どもの行動や表情から思春期の子どもの内面を察知する目を養う。

と違う様子です。帰ってくるなり、ランドセルを放り投げ、いきなりマンガ本を読みだしました。「ただいま」のあいさつも言いません。おまけにスナック菓子を見つけて食べ始める。母親に何を言われても言うことを聞きません。さて、こんな時、あなたは どうしますか？ スタッフの演技を見ながら考えてみてください！

場面1をスタッフがロールプレイで示す。スタッフのロールプレイを見て、子どもの気持ちを考え、自分がこの子の母親がいたら、どうかかわったらよかったか、4人組で話し合う。

4人組で話し合った内容を班（南側の5つの班）の代表者が発表し、考えを分かち合う。「子どもに今日あったことを聞いてみる」とか「顔色や態度を観察する」「話したくないの？」など、子どもの内面（感情）を理解しようとするような意見が出たら、ポイント1のカードを黒板にはり、確認する。「そっとしておく」「落ち着くまで待つ」などの意見が出たら、ポイント2のカードを黒板にはり確認する。

ポイント1：ゆれている我が子の内面を察知してかわりましょう。

ポイント2：親に近づこうとしてきた時はかわりをもち、自分でやろう（離れよう）としている時は見守りましょう。

実習2 題名「夕食後のヒロシ君」

場面2：ヒロシ君は、帰宅後、少し元気がなかったようでしたが、夕飯をすませ、なんとなくテレビを見ていました。最近ヒロシくんは一人でお風呂に入るようになったので、お母さんは「早くお風呂に入ってください」と声をかけました。ところが、ヒロシ君は「お母さん今日一緒にお風呂に入ろう」と言いました。せっかく一人でお風呂に入れるようになったのに...、それに洗い物もたくさん残っているし...。

さて、こんな時は、あなたは どうしますか？ スタッフの演技を見ながら考えてみてください。

場面2をスタッフがロールプレイで示す。

<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイによって課題を外在化する。 ・子どもの内面の動きに気づき、どう接したらよいか考える。 		<p>ロールプレイを見て、子どもの気持ちを考えて、自分がこの子の母親だったら、どうかかわったらよかったか、4人組で話し合う。確認した2つのポイントに基づいて考えてみるように促す。</p> <p>4人組で話し合った内容を班（北側の5つの班）の代表者が口頭で発表するか、ロールプレイで演じるかして、考えを分かち合う。</p> <p>「ヒロシの表情をよく見る」「どうしたの？何か学校であったと聞く」「何か話したいことあるの？」「いいわよ、入りましょう。じゃあ洗い物手伝って」等、ポイント1,2に関わる意見が出たら再度確認する。</p>
<p>家庭教育リーフレットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子育てを振り返り、今後の子どもへのかかわり方に意欲を持つ。 	5	<p>家庭用リーフレットを活用しながら、セミナーのまとめをする。振り返り用紙に感想等を記入してもらうよう話す。</p> <p>振り返り用紙に、評価や感想を記入する。</p>
<p>閉会の言葉</p>	3	<p>閉会のあいさつをする。</p>

板書計画

小学校4学年保護者会 「子育て支援セミナー」

～ テーマ「成長する我が子とのかかわり方」～
 ”もう10歳”でも,”まだ10歳”

セミナーの流れ

- 1 オリエンテーション
- 2 ウォーミングアップ
- 3 ワーク
「こんな時どうする」
- 4 ふりかえり

感情読み取りゲーム
 ・喜び・いかり
 ・不安・悲しみ
 ・緊張・甘え

ポイント1：揺れている我が子の内面を察知してかかわりましょう。
 ポイント2：親に近づこうとしてきた時はかかわりを持ち、自分でやろう（離れよう）としている時は見守りましょう。

4 振り返り用紙の質問内容

小学校 学年保護者会 「子育て支援セミナー」 平成 年 月 日
 おもちゃやぬいぐるみを使っていた（写真に写っていた）頃の幼かった我が子が、これから思春期に向かってどう成長していくか、その姿を想像し、感じたことを書いて下さい。

参加していただきありがとうございました。セミナーに参加した感想をお寄せ下さい。

プログラム テーマ「天使のねん土で夢をつくろう」 (親子対象)

1 ねらい

親子が共にする活動を通して、親子のかかわり方について考え、家族の絆をより深める視点を育む。

2 準備

- ・天使の粘土、下敷きの用紙、ビニール袋、アンケート用紙

3 展開案(90分予定)

配時	活動内容	留意点
5	1 開会	
1 0	2【気楽に話しかけよう】 クイズの答えの数だけ親子のグループを作る。	3グループになった場面で、グループ内で自己紹介をすることを伝える。 (1班 2班 3班) 親班を別で作し、制作途中に4グループでお話タイムをすることを伝える。
5	3【グループごとに、親子で座席を作ろう】 教室に3カ所の島を作り、親子ごとにまとまって座る。	長テーブル又は机及び椅子を移動させ、島を3カ所作ることを話す。
3 0	4【粘土で作ろう】 家族で行ってみたい所を決める。 何を作ろうか決める。 親子でいっしょに作る。	活動のあらましと大切にしたいポイントを伝える。 ・親子で話し合っ、家族で行きたい所を決める。 ・親子で話し合っ、何を作るか決める。 ・親子で話し合いながら作る。 家族の人数分の粘土を配布する。
1 0	5【お話タイム】 作業途中で、4グループに分かれて意見交換をする。	親だけの班、子ども1班、子ども2班、子ども3班の4班に分かれて活動することを伝える。
5	6【家族で話そう】 どんな一日になるか親子で話し合う。	親子で話し合いながら物語を作るよう伝える。

2 0	7【活動を振り返ろう】 3グループに分かれて意見交換する。	活動を通しての感想を、最初の子が発表して、次に親が発表する。
5	8 閉会	

4 振り返り用紙

子育て支援セミナー 振り返りシート 子ども 名前()	
<p>きょう、家の人とねんどづくりをして、おもったこと、きづいたことを書いてください。 (一つでも二つでもいいですよ)</p>	
子育て支援セミナー 振り返りシート 保護者 名前()	
<p>今回のセミナーに参加して、今後、お子さんとのかかわっていく上で、「大事にしたい」と思ふことをお書き下さい。(一つでも、二つでも結構です。)</p> <p>今回のセミナーはいかがでしたか？ご意見ご感想をお聞かせ下さい。今後の参考にさせていただきます。</p>	

反抗する子にどう接するか。	仲間はずれにされて心配。
成人向け雑誌を隠し持っていて困った	友達とのいさかいをどう対処したらいいか。
異性を気にし過ぎて他のことがおろそかになる。	友達への不満をよく言うのが気になる。
自分の容姿を気にし過ぎる。	自己嫌悪感が強くなる。

ワークシート

「不登校の予防のための、保護者の願いに添った、学級懇談会を企画しましょう!」

ワークの手順

あかぎ先生の学級の「保護者の願い」を整理して、保護者の抱える課題を捉える。
(個人)

グループでの話し合いを通して、保護者の課題から学級懇談会のテーマを決定する話し合った内容を、各グループの代表者が全体の場で発表し、考えを分かち合う。活動を振り返る。



Q あかぎ先生は、アンケートやその他の情報収集によって、保護者の願いを把握しました。これらを整理すると、保護者は、子どもにどんな力を身につけさせたいと思っているのでしょうか？

あかぎ先生の学級の「保護者の願い」

別紙参照



あかぎ先生

「保護者の願い」から導いた「子どもに身につけさせたい力」

グループで話し合って決めた、学級懇談会のテーマ

活動の振り返り(感じたことや思ったこと)

プログラム テーマ「天使の粘土で、親子が相互コミュニケーションの大切さに気づく、子育て支援セミナーの体験」(教師対象)

1 ねらい

共有課題を協働作業で解決する活動を通して、コミュニケーションの大切さに気づく。

2 準備

天使の粘土(人数分) 振り返り用紙

3 展開(60分)

配時	活動内容	留意点
2	1【ワークのねらいを聞こう】	天使のねんどを使って、親子が相互コミュニケーションを学べることを伝え、体験を通して理解することを話す。
8	2【気楽に話しかけよう】 3人のグループを作る。	近くに座っている人と3人グループを作るよう話す。
	3【グループごとに座席を作ろう】 教室に予め作っておいた3カ所の島に、3人で向かい合って座る。 簡単な自己紹介をする(氏名、学校名、担当等)。	活動場所の設定作業も協働という意義あることなので、実際のセミナーでは、長机及び椅子を移動させ、島を3カ所作ることから始めることを話す。
30	4【粘土で語ろう】 「こんな学校があったらいいな！」 を3人で話し合って決める。 何を作ろうか決める。 3人で協力して作る。	活動の流れと大切にしたいポイントを伝える。 ・3人で話し合って、テーマを決める。 ・3人で話し合って、何を作るか決める。 ・3人で話し合いながら作る。 人数分の粘土を配布する。
	10	5【3人で話そう】 どんな一日になるか3人で話し合う。
10	6【活動を振り返ろう】 3グループに分かれて意見交換する。	活動を通しての感想を、全員が発表する。

振り返り用紙の質問内容

この交流会(ワークショップ)に参加して、今後、児童生徒とかがかわっていく上で、「大事にしたい」と思うことをお書き下さい。(一つでも、二つでも結構です。)